

2022UIPM ワールドカップファイナル



令和4年6月23日から26日の間、トルコ共和国アンカラ市において2022年 UIPM (国際近代五種連合) ワールドカップファイナルが実施された。自衛隊体育学校からは佐藤大宗3等海曹と内田美咲3等陸曹が出場し、ミックスリレーでは佐藤3曹と内田3曹ペアが歴代最高の2位、女子個人では内田3曹が日本勢過去最高となる4位の成績を取めた。

写真: UIPM



レーザーランで内田3曹 (写真右) から引き継ぐ佐藤3曹 (写真左)

ミックスリレー歴代最高成績

大会最終日のミックスリレーでは昨年の全日本選手権大会で優勝した佐藤3曹と内田3曹ペアが参加した。フェンシングで2位、水泳と馬術ではそれぞれ1位と素晴らしいパフォーマンスを見せ、総合1位で最終種目のレーザーランが始まった。レーザーランでは佐藤3曹が最終ラップで猛烈な走りを見せるも6位の結果となった。総合成績では1位のハンガリー1357点から僅か6点差の2位となり、日本勢歴代最高の銀メダルを獲得をすることができた。佐藤3曹は「努力は絶対裏切らない！今まで応援、サポートしていただいた方々、家族、体育学校の関係者全員に心から感謝しています！」と述べた。続いて内田3曹は「1種目1種目、2人の力を出し切った結果、メダルを取ることができてとても嬉しい。」と語った。

健闘 内田 日本勢過去最高順位

内田3曹は大会2日目の女子準決勝で36人中14位で決勝へ進出し、大会4日目の決勝に臨んだ。フェンシングで6位、水泳では1位の選手と1秒差の3位になり、馬術でも6位と安定した成績で上位をキープし、総合3位でレーザーランを迎えた。レーザーランでも好ペースを維持し6位でフィニッシュした。総合成績では3位の選手と2点差の4位で表彰台を惜しくも逃したが、2018年ワールドカップファイナルの6位(室塚詩乃2等陸尉)を超える日本勢過去最高順位という素晴らしい成績を取めた。



女子個人 4位入賞
内田3曹

試合結果

ミックスリレー	2位	3等海曹 佐藤大宗 (青森県)	1351点
		3等陸曹 内田美咲 (埼玉県)	
女子個人	4位	3等陸曹 内田美咲 (埼玉県)	1374点

